



人間国宝

野村万作
(第一夜)



人間国宝

野村四郎



森 常好



野村萬斎



能
紅葉狩

第一夜 11/21

狂言

二人大名



第二夜 11/22

狂言
成上り

能
俊寛

2019年11月21日(木) 第一夜 狂言「二人大名」能「紅葉狩」

2019年11月22日(金) 第二夜 狂言「成上り」能「俊寛」

開場:午後5時30分/開演:午後6時30分/終演予定:午後8時50分頃

会場 北とぴあ さくらホール

北区王子1-11-1 (JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅下車徒歩3分)

チケット発売中!

SS席 8,000円 / S席 6,000円 / A席 4,000円 / B席 2,000円 <各日とも・全席指定>

(2018.9.13第十六回飛鳥山新能ご来場者特別割引チケット及び11/21.22二夜連続割引チケット・事務局のみ取り扱い)



通常電話予約 0570-02-9999 第一夜 Pコード: 495-531

<http://pia.jp/t/>

第二夜 Pコード: 495-540

北とぴあ1階チケット売場
(窓口のみ10:00~20:00)

※セブン・イレブンでも直接お買い求めいただけます(要Pコード)

【お申し込み・お問い合わせ】(電話での受付時間:午前10時~午後4時・月~金)

飛鳥山新能実行委員会事務局 TEL:03-3912-2157 FAX:03-6736-0608 E-MAIL:takiginou@gmail.com

主催:飛鳥山新能実行委員会

共催:東京都北区/北区教育委員会/(公財)北区文化振興財団

助成:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



後援:(一社)北区観光協会/東京商工会議所北支部/北区町会・自治会連合会/(公社)王子法人会

北区商店街連合会/(一社)北産業連合会/北区謡曲連合会/(公社)東京青年会議所北区委員会

東京王子ロータリークラブ/東京北ライオンズクラブ

飛鳥山新能公式ホームページ
Facebookページ

<http://asukayama-takiginou.jp/>
<https://www.facebook.com/asukayamatakiginou>

第十七回
飛鳥山新能
in 北とぴあ

第十七回 飛鳥山薪能 in 北とぴあ

第一夜 令和元年十一月二十一日(木) 午後五時半開場・六時半開演・八時五十分頃終演予定

狂言 解 説 組 横浜能楽堂芸術監督 中村 雅之

狂言 二人大名

通りの者 野村 万作 大名 高野 和憲 大名 野村 萬斎 後見 岡 聡史

―― 休憩 十五分 ――

能 解 説 横浜能楽堂芸術監督 中村 雅之

侍女・鬼女

北浪 貴裕

武田 文志

安藤 貴康

馬野 正基

長山 桂三

上臈・鬼神 野村 四郎

平維茂 森 常好

従者 館田 善博

則久 英志

梅村 昌功

女 飯田 豪

武内ノ神 内藤 連

後見 鵜澤 久

瑞子 地謡

功刀 望

小早川 泰輝

柴田 祥照

小早川 昌司

修 総

紅葉狩

鬼揃

大鼓 柿原 弘和

太鼓 太鼓 梶谷 英樹

小鼓 観世新九郎 笛 一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

太鼓 太鼓 梶谷 英樹

小鼓 観世新九郎 笛 一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

太鼓 太鼓 梶谷 英樹

小鼓 観世新九郎 笛 一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

太鼓 太鼓 梶谷 英樹

小鼓 観世新九郎 笛 一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

太鼓 太鼓 梶谷 英樹

小鼓 観世新九郎 笛 一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

太鼓 太鼓 梶谷 英樹

小鼓 観世新九郎 笛 一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

太鼓 太鼓 梶谷 英樹

第二夜 令和元年十一月二十二日(金) 午後五時半開場・六時半開演・八時半頃終演予定

狂言 解 説 組 横浜能楽堂芸術監督 中村 雅之

狂言 成上り

太郎冠者 野村 萬斎

主 すっぱ 石田 幸雄

後見 月崎 晴夫

石田 幸雄

淡朗 幸雄

石田 幸雄

淡朗 幸雄

石田 幸雄

淡朗 幸雄

石田 幸雄

淡朗 幸雄

石田 幸雄

淡朗 幸雄

石田 幸雄

淡朗 幸雄

石田 幸雄

淡朗 幸雄

石田 幸雄

淡朗 幸雄

―― 休憩 十五分 ――

能 解 説 横浜能楽堂芸術監督 中村 雅之

康頼 野村 昌司

成経 田口 亮二

俊寛 野村 四郎

赦免使 森 常好

大鼓 柿原 弘和

小鼓 観世新九郎

第一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

小鼓 観世新九郎

第一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

小鼓 観世新九郎

第一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

小鼓 観世新九郎

第一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

小鼓 観世新九郎

第一噌 隆之

大鼓 柿原 弘和

俊寛

船頭 野村太一郎

後見 青木 健一

地謡 観世 淳夫

安藤 貴康

馬野 正基

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

小早川 修

演 目 の ご 案 内

【狂言 二人大名 ふたりだいみょう】

ある大名が、もう一人の大名を誘って外出したが、二人は供を連れてこなかった為、通りすがりの男を脅して供にしようとする。男に無理やり太刀を持たせ歩いていると、頭にきて怒り出した男が急に太刀を振り上げ、大名達の小刀を取り上げてしまう。立場が逆転した男は大名達にいろいろな要求をする……。

【能 紅葉狩 もみじがり】

時は秋、場所は信濃(長野県) 戸隠山。ある上臈が侍女を連れて紅葉狩にやって来る。木陰で酒宴を始めると、そこへ鹿狩に来た平維茂が通りかかる。貴人達の宴を妨げないように通り過ぎようとする維茂を、女達が引き留めて宴に誘い、断りかねた維茂は勧めに応じて盃を重ね、上臈の舞や女達の姿に見とれ、いつしか寝入ってしまう。それを見届けた女達は、凄く勢いで山中に姿を消す。すると、八幡宮の武内の神が維茂の夢に現れ、神剣を授けて身の危険を知らせる。目覚めた維茂は神剣を頂き、鬼神を待ち構える。やがて山中に稲妻が光り雷鳴がとどろき、本体を現した鬼神が襲いかかってくる。維茂は刀を抜いて応戦し、鬼女達を退治する。

【狂言 成上り なりあがり】

太郎冠者が鞍馬に参詣に出かけおこもりをしていると、すっぱに主人の太刀を青竹にすり替えられてしまう。太郎冠者は主人に、太刀が青竹に成り上がったと報告するが、叱られてしまう。二人はすっぱを待ち伏せして捕えようとするが……。

【能 俊寛 しゅんかん】

平家打倒を謀った俊寛僧都(しゅんかん)、丹波少将成経(なりあがり)、平判官康頼(へいはらうかん)は、鬼界ヶ島に流された。島では、成経・康頼が島に勧請した熊野三社に参拝する毎日を送っている。三人は水を酒になぞらえて飲み交わし、栄華の昔を偲び今の身の上を嘆いている。都では、平清盛の娘(中宮徳子)の懷妊により安産祈願の大赦があり、赦免状が発せられた。鬼界ヶ島に赦免使が赴くと、赦免状に成経と康頼の名前はありますが、自分一人だけの名が無いと知った俊寛は、怒りと絶望に打ち震える。船出の時が来て、せめて九州までと船頭の情に訴えるが、艀權(ろかい)を振り上げられ打たれそうになる。恐ろしい絶海の孤島に残される俊寛の悲嘆と、生への未練を描く。

飛鳥山薪能では『イヤホンガイド』『能サボ』をご利用いただけます

【耳で観る能】、音声解説イヤホンガイド、舞台の進行に合わせて解説が流れてくるので、舞台をより深く楽しむことができます。(レンタル料1台500円税込・保証金1,000円・限定400台)

能サボとは舞台の上演に合わせて能の詞章(セリフ)が自動でタブレットに表示されるサービスです。お客様がご持参のスマートフォンやタブレットにGマークアプリとコンテンツをダウンロード(無料)することにより、ご利用いただけます。また、英語のガイドをご希望の方には能サボ専用タブレットを貸出いたします。(レンタル料1台1,000円・限定50台)

【北とぴあへのご案内】●JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅下車徒歩3分



【チケットのお求めは】

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>
通常電話予約 0570-02-9999
・セブン-イレブンでも直接お買い求めいただけます(要Pコード)
第一夜 Pコード: 495-531
第二夜 Pコード: 495-540

北とぴあ1階チケット売り場

(年始年末・全館休館日は休業) ※窓口のみ 10:00~20:00 臨時休館日は10:00~18:00

【お問い合わせ】

飛鳥山薪能実行委員会 (電話での受付時間:午前10時~午後4時・月~金)

TEL: 03-3912-2157 FAX: 03-6736-0608 E-MAIL: takiginou@gmail.com

※車椅子席をご希望の方は(公財)北区文化振興財団までお問い合わせ下さい。
03-5390-1221 (受付時間:午前9時~午後5時・平日のみ)

【チケット料金】 <各日とも・全席指定>

SS席 8,000円
S席 6,000円
A席 4,000円
B席 2,000円

チケット発売中!

※駐車場がございますので車でのご来場はご遠慮下さい。
※場内での撮影・録音・時計のアラーム及び携帯電話は固くお断りいたします。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。